

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月18日		記入者	内線	3813
部名	消防本部	課名	救急対策課	課長名	永瀬和昭
事務事業名	救急活動支援事業				
予算上の事務事業名	救急活動費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施策名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
消防法第35条の5（救急業務）					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 維持・管理・補修 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）	
救急活動に必要な資機材を整備し、常備消防の充実を図る。				市民	
(3) 平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
16年中の救急活動状況					
救急出動件数 24,820件					
救急搬送件数 23,002件					
救急搬送人員 23,524人					
救急業務用品を6月、10月、2月の3期に分けて購入し各救急隊に配布した。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	18,509	19,179	14,965	15,616	16,000
一般財源	18,509	19,179	14,965	15,616	16,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計(a)	18,509	19,179	14,965	15,616	16,000
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）					
主たる事業名	救急活動用品の購入			対象名称 (単位)	搬送者数(人)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	10,902	12,003	13,659	15,311	17,163
対象数	22,502	23,146	24,044	24,933	25,856
単位あたり経費(円)	484	519	568	614	664
前年度比		1.07	1.10	1.08	1.08

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	救急出動数(件)		指標式と指標の説明	救急車要請件数 / 救急出動件数 (データは年中)	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	22,627.0	24,294.0	24,820.0		
目標	22,627.0	24,294.0	24,820.0	25,341.0	25,873.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	救急出場率 (%)		指標式と指標の説明	救急車要請件数 / 救急出動件数 × 100 (データは年中)	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	22627.0	24294.0	24820.0		
目標	22627.0	24294.0	24820.0	25341.0	25873.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		救急件数増加の観点からも事業の充実を図る必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 質の高い救急業務を遂行するため、救急高度化に対応する資機材を配置していく。			14 課題として認識されたこと 高度救急資機材使用に伴う病院研修等の増加。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		消防力整備計画の見直しを図る。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			